学校教育目標「自ら進んで学び，社会性と高い志を持った生徒の育成」
緑中合言葉「　素直さ　明るさ　逞しさ　」

緑の風

令和８年５月２２日　第３号
文責　長崎市立緑が丘中学校
校　長　　森田　将史

令和8年度体育大会　共創　～生徒一人ひとりが創り上げ進化させる学校～

去る５月１７日（日）、晴天にも恵まれ、令和８年度の体育大会が開催されました。当日は多くのご来賓や保護者・ご家族のご参観をいただきました。例年であれば直前の１～２週間は天候との戦いでもあり、追い込みの練習、総練習、会場設営と頭を悩ませることも多かったのですが、今年は雨の予兆が全くなく、思う存分、体育大会に向けて学校全体で取り組むことができました。その分、熱中症等のリスクも上がり、随時の水分補給と適宜の休憩を取りながら無事に終えることができました。

「させられる・やらされる」から「自らの手で創る」という意識に変わる時期が遅いか早いか。一つの目標に向かって集団が一つになれるか。年間を通して多くの行事がありますが、行事を通して学級、学年、学校が

「認め合い、支え合い、学び合い、高め合う」

愛に満ち溢れた温かい集団　仲間を大切にする集団　互いを尊重する集団

となることを目指しています。

３年生のリーダーシップが光る素晴らしい活躍で、逞しさが感じられました。その姿を見て１年生は大きな「憧れ」を抱いたのではないでしょうか。そして２年生は、来年は自分たちの番であるという強い「覚悟」と「自覚」ができたのではないでしょうか。

生徒会長による開会式あいさつ、全校生徒を引っ張っていくんだという中学生らしいはつらつとした姿でした。実行委員による選手宣誓、準備運動模範、閉会式あいさつ、凛として力強さを感じました。体育大会の成功に大きく貢献した、頼もしいリーダーたちでした。それぞれの種目で様々なドラマがありました。僅かの差で、、、という展開が相次ぎ、一喜一憂する姿がありました。練習以上の成果を発揮した学級も多くあり、決着はつきましたが、一生懸命に取り組んできたからこそ勝負を超えた大きな価値を得ることができました。そして伝統の“緑中がらぢう”。ご参観の皆様、「アンコール」「もってこい」ありがとうございました。職員も、さらには１年生もなだれ込み、まさに学校一体となって踊りつくしました。ご来賓、保護者の皆様からも多くの称賛をいただき、盛会のうちに終えることができました。

保護者の皆様におかれましては、子ども達の活動の様子を温かく、参観していただいたとともに、声援と拍手を送っていただき、ありがとうございました。生徒一人ひとりが創り上げ進化させる学校を目指していきます。本校の教育活動に対するご理解とご協力に重ねて感謝申し上げます。

心が温かくなる出来事

本校正門前にごみステーションがあります。近隣の方は決められた日におおよそ決まった時間にそこへいらっしゃいます。毎朝、正門であいさつをして生徒たちを迎えておりますので、その方々といつしか顔見知りになりました。つい先日の話です。ご高齢の方が話しかけてくださいました。土日を使って家の大掃除をして、そこで大量のゴミが出たので、その日は燃やせるごみの日だから両手いっぱいに抱えてごみステーションに向かっていたところ、登校中の生徒が何気なく声をかけてくれて手伝ってくれたとのことでした。名を名乗らず、見返りも求めず、自分の荷物も大きいのに、気軽にそのような行為を自然にしてくれたことにその方はとても感激しており、感謝の意をいただきました。私も嬉しくなりました。そのような自然の行為が周りを幸せにします。心優しい緑中生の何気ない行動のおかげで、とても心が満たされました。ありがとう。